

自分たちでできる環境配慮を実践しよう！

10月28日に第2回 TEAS 委員会への参加をしました。生徒自身が今まで以上に気をつけて「節電」や「ゴミの分別」をしていくことが大切だという話がでていました。

そんな中で、部室内のゴミについても話題となりました。自身が所属している男子バレー部では、第1回 TEAS 委員会後の部室清掃以降は「ゴミ箱をなくし各自でゴミを持ち帰るようにする」ことを全員が心がけて、現在では部室内でのゴミは全くありません。部活動内でルールを決め、ゴミを持ち帰ったり減らしたりしていきましょう。



また、生徒保健委員会では「マイボトル運動」や「スマート・ライフ・プロジェクト」を前期に引き続き、後期も実施していきたいと考えています。3つの S「睡眠・摂食・整理」を意識して、健康的な学校生活を過ごしましょう。

冬が近づき気温が下がり寒くなってきました。体調管理に気をつけて「感染症予防」にも取り組みましょう！！保健委員が「感染症予防あいうえお表」を作成しました。感染症予防の参考にいただければ嬉しいです。

後期保健委員長 (2-3 森田 智)

皆さんの部室はきれいですか？ 最近、いくつかの部室の状況について調べました。すると、たくさんの部室でゴミが多く出されていました。おにぎりのラップやお菓子のゴミが多くありました。その中でも最も多かったのは「汗拭きシート」のゴミです。そのゴミを減らすために、汗拭きシートではなく「タオル」を持ってきてゴミを少なくしましょう。水分は「マイボトル」、汗ふきは「マイタオル」でエコに努めませんか。

次にペットボトルのゴミについてです。

翠陵祭のときに PTA の方々にいただいたジュースのことを覚えていますか？ 飲み終えた多くのペットボトルが八頭高内の自販機専用のゴミ箱に捨てられていて、ゴミ箱から溢れ出ていました。この現状を変えるためには、来年度からは「後始末のことを考えてからの企画」にすることが大切だと考えます。また自分が出したゴミは自分で持ち帰ることを心がけましょう！

保健副委員長 (1-5 古川陽大)



八頭高の伝統「マイボトル運動」を続けよう

平成 18 年に TEAS 認定され、その翌年から当時の生徒保健委員が「環境保全のためにも熱中症予防のためにも」と始めたのが「マイボトル運動」の始まりです（当時は「マイポット・マイボトル運動」と言っていました）。もはや伝統です。続けていきましょう

八頭高での取組

前期の保健委員会では「熱中症予防」のためにマイボトル運動を呼びかけました。後期は「感染症予防」のためにも呼びかけたいと思います。

そして、何より大切なのは「マイボトル運動」が「環境保全につながる」ということです。環境配慮推進班の自分たちにとっては、とても大切な運動です。

また、清掃が行き届き、教室がきれいであることは「学習環境を整えること」につながります。ゴミを分別して学校をきれいにしましょう。(1-2 前田 陽向)



鳥取県での取組

知っていましたか？ 鳥取県でも「マイボトル運動キャンペーン」を実施しています。

キャンペーンの内容はスタンプキャンペーンや SNS 投稿キャンペーンがあります。

(鳥取県生活環境部自然共生社会局循環型社会推進課が主催、今年は9月末に実施済)

【スタンプキャンペーン】

参加協力店舗でマイボトルを利用して飲み物を買ひ、スタンプをもらひ、スタンプを集めて応募すると豪華景品があたる。

【SNS 投稿キャンペーン】

Instagram または X でとっとりマイボトルキャンペーンをフォローし「#みんなでとっとりマイボトル運動」をつけ自分のマイボトルを使用している写真を投稿する。

来年はぜひ八頭高生もこれに応募して豪華景品をゲットしよう！(1-5 入江 琉生)

世界レベルでの取組

現在、世界で起こっている「ペットボトル問題」は深刻です。ペットボトルの年間排出量が日本で250億本、世界では5,000億本。そのうちの1%が海洋に流出すると、年間約50億本が海洋に排出されることになり、深刻な環境問題を引き起こします。

ペットボトルは海水より比重が大きいので、海底に沈んで蓄積して海洋プラスチック汚染の原因になります。海洋生物が誤って食べて死んでしまったり、食物連鎖で人間にも影響を及ぼしたりすることが考えられます。これらを改善するために、プラスチックリサイクルやマイボトル運動をしている企業が増えています。

大切なのは「マイボトル運動」やリサイクルにつながる「ゴミの分別」を世界レベルでみんながやっていくことではないでしょうか。やりましょうや、八頭高でも！

若い僕らがきちんとやることで未来がかわると思います。(1-2 吉尾 匠生)